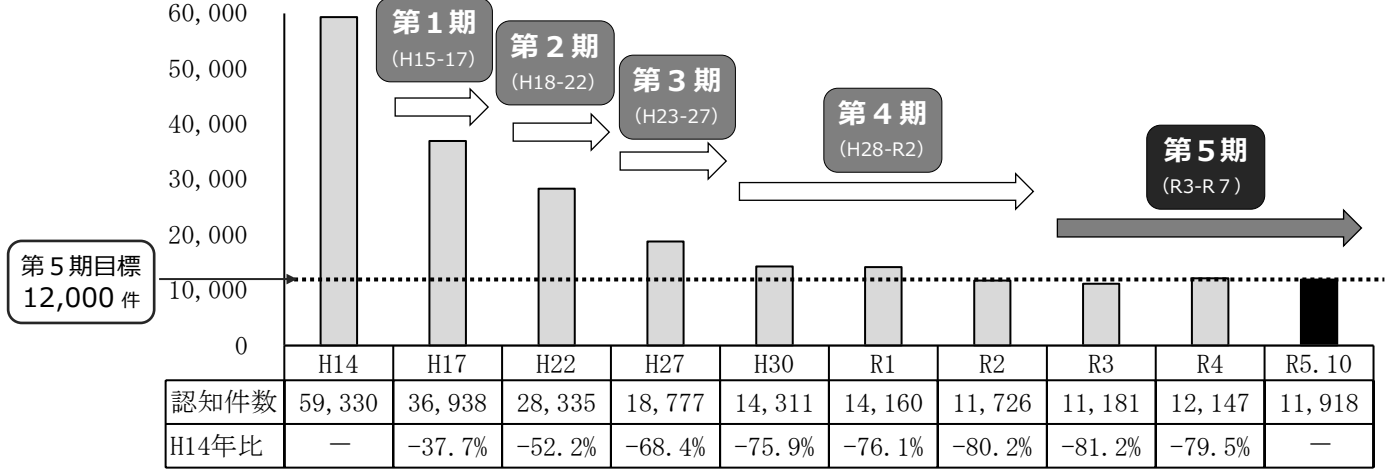


広島県内における犯罪情勢等 (令和5年10月末現在)

「減らそう犯罪」第5期
ひろしまアクション・プラン
令和3(2021)年～令和7(2025)年

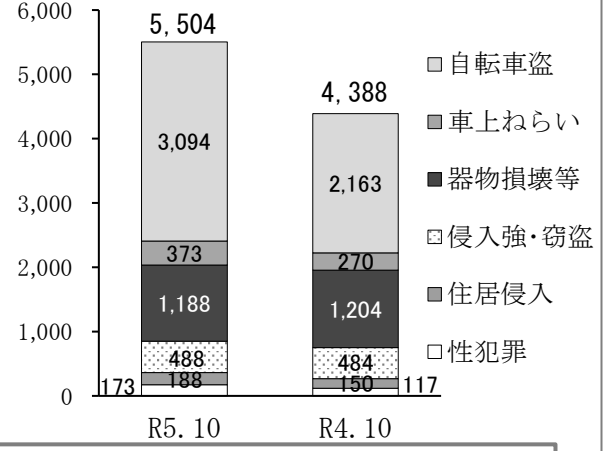
1 刑法犯認知件数 (推進指標：年間12,000件以下)



刑法犯認知件数は、平成15年以降、アクション・プランに掲げた指標を達成しながら減少を続けていましたが、昨年は目標(12,000件以下)を超え、20年ぶりに増加に転じました。平成14年(運動開始前年)比で、79.5%減少していますが、本年10月末現在、11,918件で、前年同期比では、1,875件増加(増加率+18.7%)しています。

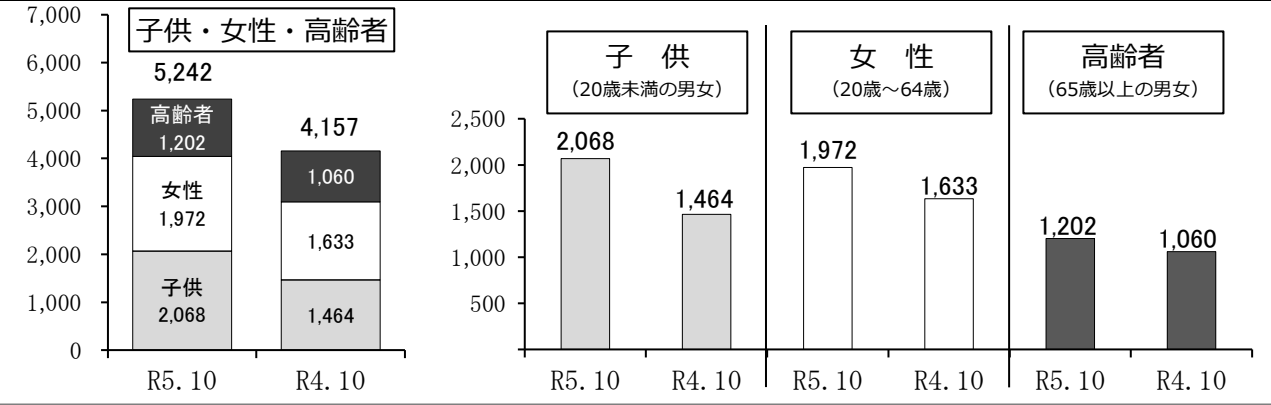
2 不安を感じる犯罪の認知件数 (取組指標：年間5,500件以下)

区分	R5.10	R4.10	増減数	増減率
不安を感じる犯罪	5,504	4,388	1,116	25.4%
自転車盗	3,094	2,163	931	43.0%
車上ねらい	373	270	103	38.1%
器物損壊等	1,188	1,204	-16	-1.3%
侵入強盗	5	7	-2	-28.6%
侵入窃盗	483	477	6	1.3%
住居侵入	188	150	38	25.3%
不同意性交等	51	33	18	54.5%
不同意わいせつ	122	84	38	45.2%



本年10月末現在、前年同期比で1,116件増加(増加率+25.4%)し、増加が顕著な罪種は自転車盗で前年同期比で931件増加(増加率+43.0%)しています。

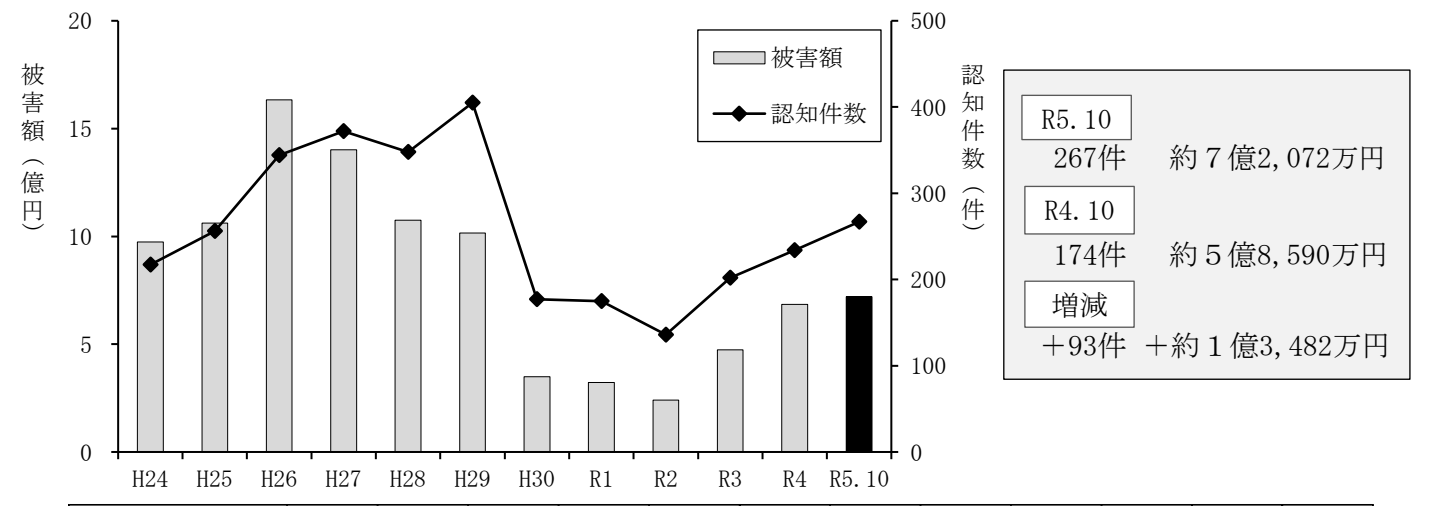
3 子供・女性・高齢者が被害となる犯罪の認知件数 (取組指標：年間4,800件以下)



本年10月末現在、前年同期比で1,085件増加(増加率+26.1%)し、子供・女性・高齢者のいずれも被害が増加しています。

4 特殊詐欺の年間被害総額等 (取組指標：年間2億円以下)

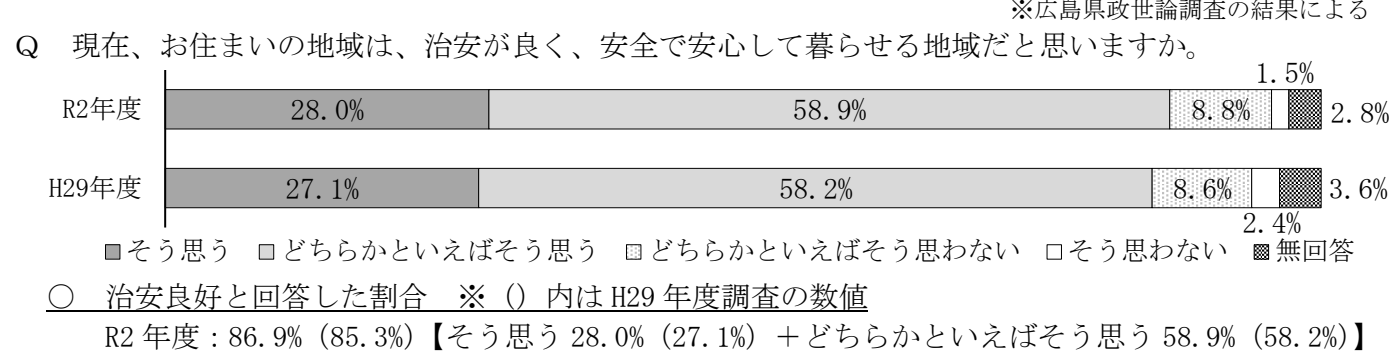
特殊詐欺被害状況 (平成24年～令和5年10月末)



	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5.10
認知件数 (件)	217	256	344	372	348	405	177	175	136	202	234	267
被害額 (億円)	9.8	10.6	16.3	14.0	10.7	10.1	3.5	3.2	2.4	4.7	6.8	7.2

特殊詐欺の認知件数・被害額は、昨年は7年ぶりに増加に転じた令和3年を大幅に上回りました。本年10月末現在、前年同期比で認知件数は+93件、被害額は+約1億3,500万円と共に増加し、被害額は既に7億円を超えています。全被害額の約6割を「架空料金請求詐欺」が占め、以下「還付金詐欺」、「預貯金詐欺」と続いています。

5 体感治安 (推進指標：治安良好と感じる県民の割合90%以上)



令和2年度の県政世論調査(3年ごとに実施)の結果では、居住地域の体感治安について肯定的な回答は86.9%と前回調査から1.6ポイント増加しました。また、安全・安心な生活を送るために重点的に取り組んで欲しい施策については、「防犯カメラや防犯灯の設置促進」「子供を犯罪被害から守るための対策」が高くなっています。

6 フィルタリング(スマートフォンの)の使用率 (取組指標：37%以上)

※広島県青少年のインターネット利用状況調査の結果による

～子供のスマートフォン利用に係る保護者の管理状況～

区分	管理している		管理していない (「分からない」含む)
	うち、フィルタリングを使用している		
R5年度調査結果	79.4%	30.8%	20.6%
R4年度調査結果	76.3%	30.2%	23.7%

令和5年度の調査結果では、子供がスマートフォンでインターネットを利用している保護者(10～17歳の子供と同居する保護者)のうち、フィルタリングを利用している割合は30.8%でした。